

医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第124号
2011年4月15日
日本医労連増員闘争本部
TEL:03-3875-5871
FAX:03-3875-6270

4・14 国会行動 101 人参加、紹介議員 3 名増

4月14日の「大幅増員・夜勤改善、東日本大震災被災者救援の早急な具体化を求める日本医労連 4.14 国会議員要請行動」は、6 全国組合・32 県医労連・101 名が参加し、多彩な取り組みを行いました。当日は国会議員要請と並行し、厚労省に「東日本大震災への緊急対策についての要請」を行い、交通網も不十分な中で被災地から各県代表に駆けつけて頂きました。同時に行われた「被災地の早期復旧、暮らしと雇用を守る院内集会」にも代表派遣を行いました。



被災地から特別発言

意思統一集会では、田中委員長の主催者挨拶に続き、厚労省要請・交渉に参加の岩手県医労連・鈴木書記長(写真右)から被災地を代表しての訴えをおこなって頂きました。ご自身も親族を奪われた鈴木書記長は、「誰もが被害を受けた中で、建物の中から青空が見える、ローカが波を打っている、患者の食事も1日1食という状況でみんな頑張ってきた。私も支援物資を届け、1ヶ月で7000キロ走破した」と厳しい現状を報告され、全国からの支援に感謝をのべられました。そして、全国の仲間が春闘で前進を勝ち取ってくれることが大きな支援につながることに、同時に復興への長期支援を訴え、会場は連帯の拍手で包まれました。

今回は「社会保険病院・厚生年金病院・社会保険介護老人保健施設等の公的存続法案の早期提出と成立を求める要請書」も提出、健保労組・金子書記次長から現状報告と今後の決意をのべて頂きました。

意志統一集会には、山崎麻耶衆議院議員(民主)、田村智子参議院議員(共産)が激励挨拶をされ、議員秘書も3名参加しました。

約2時間半で284名の議員に要請(うち不在30名)、賛同・紹介議員3名、賛同のみ2名の成果になりました。「地元国会議員に地元から」、「事前にアポイント取って」が成果につながっているようです。

賛同・紹介議員		
照屋寛徳	(衆・社民)	沖縄
重野安正	(衆・社民)	大分
吉田忠智	(参・社民)	大分
賛同のみ		
藤本祐司	(参・民主)	静岡
橋本博明	(衆・民主)	広島

次回国会行動は5月25日

また、鹿児島、奈良県医労連代表からは地方議会の意見書は関心がもたれている、すでに地元で上がっていることを知っている議員もいたとの報告がありました。

四国ブロックは事前にアポイントを取って中谷智司(民主)議員(写真)と懇談、「陳情要請対応本部副本部長で紹介議員にはなれないが、要望書の形式であれば直ちに政権内部に伝える。医療・社会保障予算拡大は必要、選挙公約でもある。要望を受け止め奮闘する」としました。青森の代表は「紹介議員になりたいが上からストップ。県選出の民主議員ともう一度相談してみる」との回答を得、何回も来たかいがあった！と。また、愛知は民主党看護議員連盟の議員にアタック、5千筆の署名「預かっておきます」と秘書に言わせました。次回署名提出は5月25日、200万署名達成、ナースウェブ頑張りましょう！



